

情報連絡員報告・5月分

製造業では4ヶ月連続で「売上高」DIプラス

～非製造業では、水面下で足踏み状態～

<東京都中央会>

5月の情報連絡員報告によると、製造業の「売上高」前年同月比DI値が4ヶ月連続でプラスとなっていることが明らかになった。一方、非製造業は相変わらず水面下だ（前年同月比DI値-27.1）。中小企業白書が指摘するように、輸出に支えられている製造業と内需依存の非製造業で明暗が分かれているといえそうだ。Mトラックメーカーのトラブルの影響の報告が寄せられている。法令遵守の重要性をあらためて感じた。製造業65人、非製造業85人、計150人の集計。

<特記事項欄より>

金属熱処理工業=Mトラックメーカーの
トラブルの影響 ①M社のトラック部
品交換のため数ヶ月先まで手一杯。ほ
とんど休日なし...A社 ②M社以外の
トラックメーカーの部品注文が増加し
ている...A社、To社、Ta社、O社等
弁当製造=お弁当になくてはならない鳥
唐揚げは、1.5倍以上の価格で出てきた。
地方の弁当屋さんは行楽シーズンで結
構注文が来るそうだが、東京では相変
わらず食数の取り合いで、安い価格を
出せる大手の一人勝ちである。
飲料製造=景気の回復は見えてきている

そうですが当業界においては大手参入
で厳しい状況です。「新商品の開発」
とはいうもののなかなか難しいことで
す。

製粉業=農林水産省は、麦政策のあり方
について本年度の検討を始め、見直し
の視点として次の4項目を掲げた。①
担い手の育成・経営安定、②民間流通
に係る市場原理の一層の徹底、③原料
調達面での競争の促進、④効率的な管
理手法の構築

帽子製造=若い女性にハンチングが流行
しています。ハンチングとは鳥打ち帽
のことで鳥を撃ちに行くとき被る帽子

で、昔は男性が被るものでした。時代の流れを感じます。

和服裁縫＝5年前に259名いた組合員が16年3月末には、200名を割ってしまった。死亡、老齢化による廃業で避けられない。新規加入は、年に1～2名という現状である。

建具製造＝景気回復に期待を寄せてはいるが、その流れはあるもののまだまだ実感はない。確実に二極化の傾向にあり、売上順調とそうでない会社に分かれている。

塗料製造＝データ上では回復基調にあることは確かだが、中小企業にとっては回復感が肌を感じられない。中東情勢の厳しさから原油価格の値上がりによる塗料溶剤、樹脂類の価格上昇が懸念され、対策に頭を抱えている。

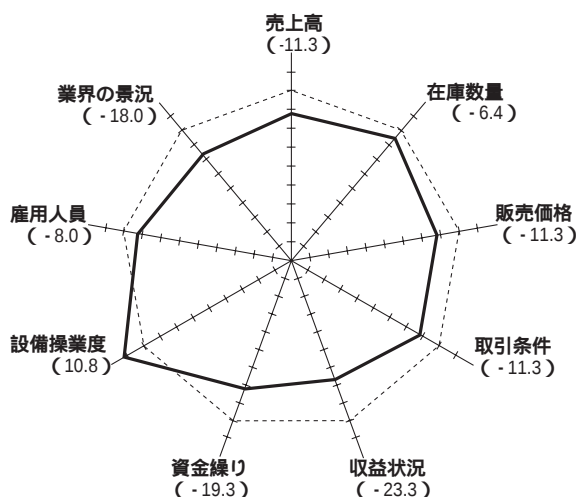
プラスチック製品製造＝大量なものの、納期のあるものは中国へ移り、国内は少量多品種、単納期となり、型の取り替えに追われ売上は伸びない。また、材料コストの上昇が製品に転嫁できないので苦勞している。

コンクリート製品製造＝年度初めの公共工事関連の準備期間とはいえ、工場の生産をゼロとするわけにもいかないの最低限度の生産を続けている。その結果、売上ならぬ在庫が増加する結果を招いている。

< 要望事項欄より >

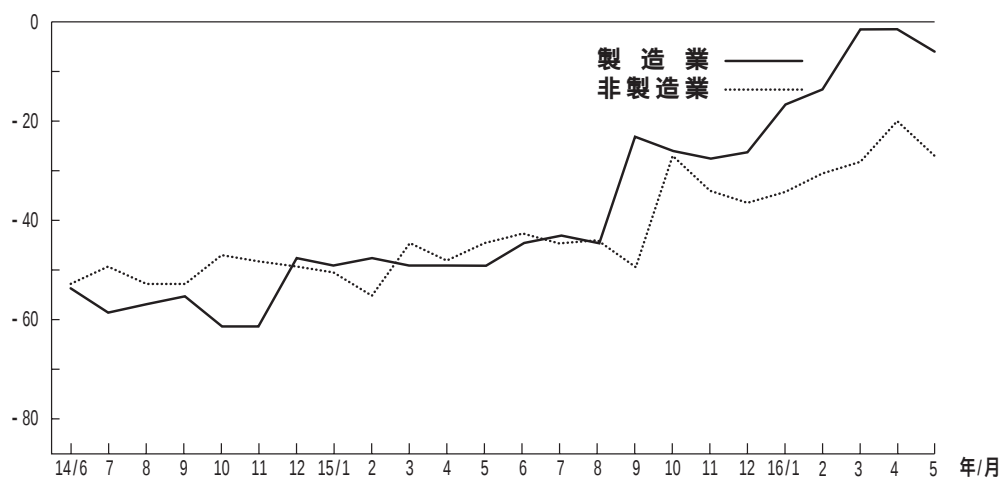
* 金融庁の不良債権処理の指導が厳しく当業界での資金繰りも金融機関が厳しい条件を持ち出している。資金繰りを円滑にする措置が必要だ。[砕石工業]

5月のレーダーチャート（全産業、前年同月比DI値）

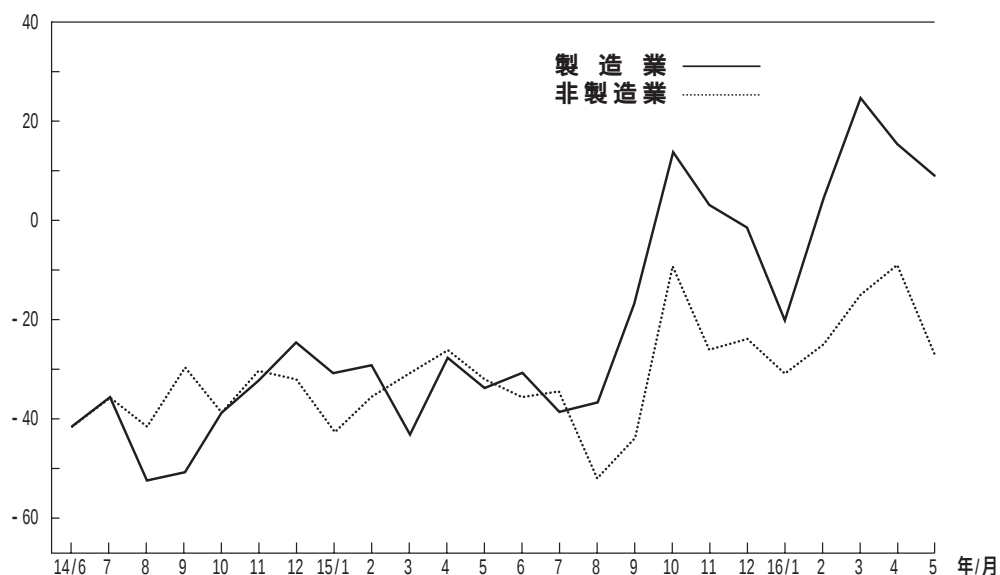


(注)点線の9角形が「DI = 0」を示す。したがって、点線の内側は「減少」「低下」「悪化」、外側は「増加」「上昇」「好転」となる。

業界の景況DIの変化（H14.6～H16.5）
（前年同月比）



売上高DIの変化（H14.6～H16.5）
（前年同月比）



(注)DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。